

つるせ西だより



～今月の特集～
どんな生活を
していますか？

第153号(6月号)2020. 6. 1

編集:鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行:富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 22

雨に濡れる紫陽花

散歩で出会った街角のガク紫陽花。
その淡い赤紫の表情にほのかな優しさを覚えた。



新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「緊急事態宣言」が出されている今日このごろですが、外出自粛のストレスを少しでも季節の草花で癒せたらと思う。
今年も関東地方の梅雨入りは6月10日前後だろうか。例年なら月末には季節を代表する紫陽花の花が、色鮮やかに見ごろを迎える。
昨年、箱根強羅公園で買い求めた紫陽花。珍種の「万華鏡」と「テマリテマリ」の鉢植えだが枯らしてしまいしきりに悔やんでいる。
日本原産といわれる紫陽花は、今日では品種も多く特に女性に人気だ。かつては白から赤や青へと次第に色を変える特徴から「七変化」と呼ばれ、これが人の心変わりに通じるとして冷遇されてきた。「節操がない」ことの連想からか、紫陽花を人に贈るのも控えられた過去があったようだ。
しかし、房に集まる多種多様な色彩は雨に濡れて一層際立ち、その姿は優しく心を和ませてくれる。
(撮影・文/川上編集委員)